

学ぶ意欲や力を向上させる 授業を目指して

帯広三条高等学校
杉崎 岳

To create English classes,
where students can
improve their motivations
for learning, knowledge and
skills

Takeru Sugisaki

Obihiro Sanjo Senior High School

Contents

1. Self introduction (自己紹介)
2. Sharing my current practice (実践内容の共有)
3. To make classes better (授業改善に向けて)
4. Sharing problems (課題の共有)

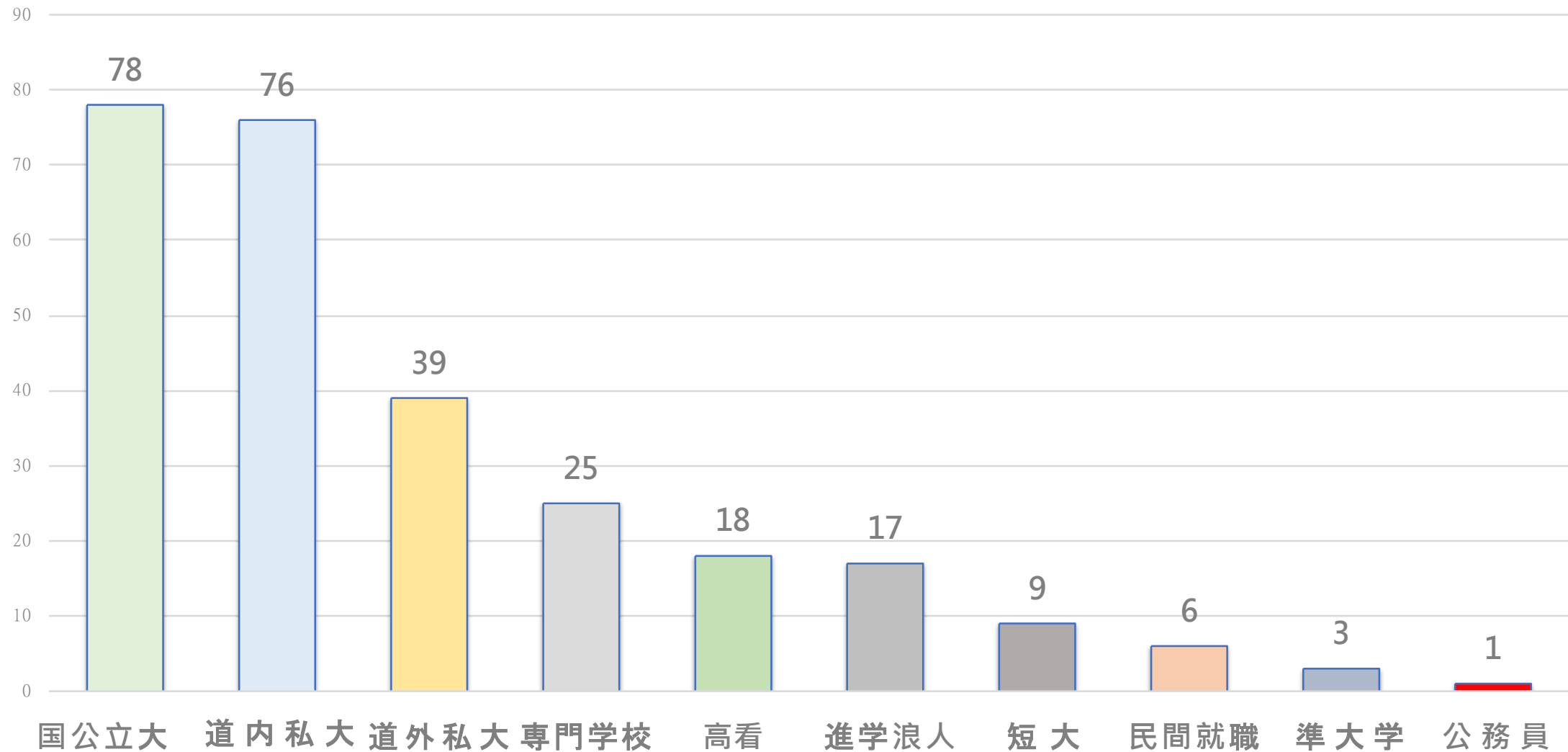


About M e

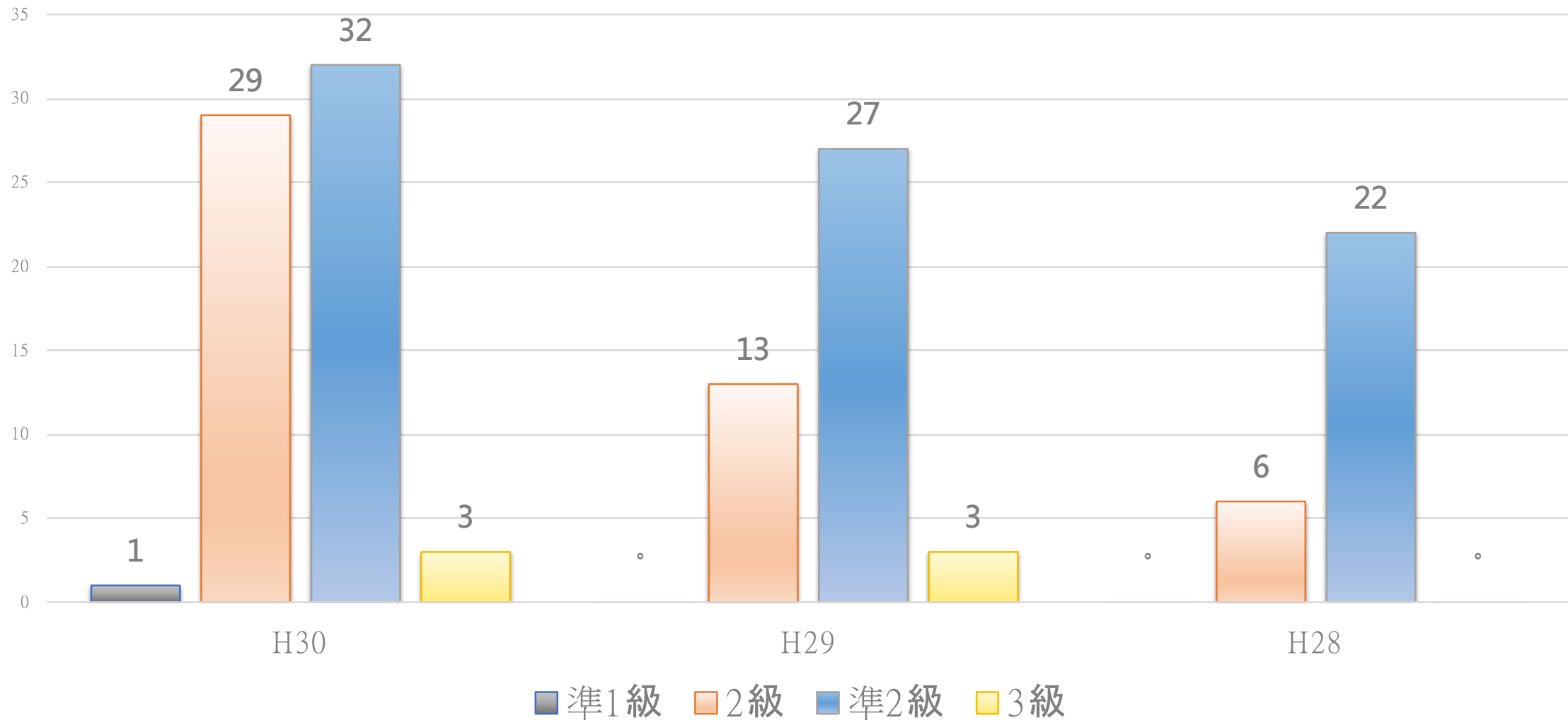


About Sanjo S.H.S

20180度卒業生 現役生徒進路先



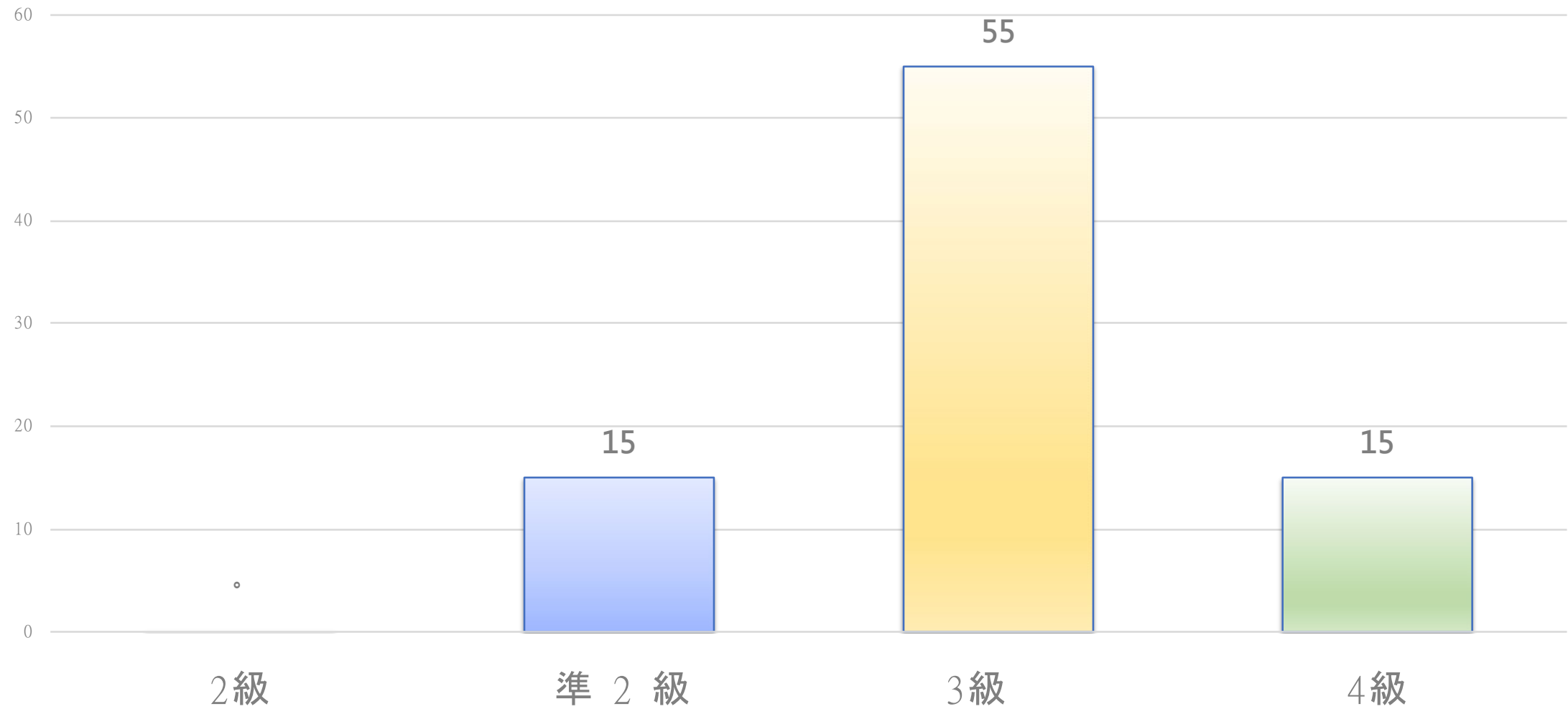
過去3年間の英検合格者（人数）の推移



※入学前の取得数は含んでいない。



2019年度入学生英検取得状況(2019.4.8)



R1 入学生教育課程 英語科

	7 マ数に1 2 5 4 ン9 (1授業=45分)										
	1	2	3	4	5	6	7	8	,	10	11
1 年次	コ 英 I				英 表 I						
2 年次	コ 英II					【選択】 総合英語講読					
3 年次	コ 英Ⅲ				【進路別選 択】 リスニング	【進路別選 択】 英語アドバンス	【進路別選 択】 表現のための英語		【自由選択】 上級英語		
									【自由選択】 中級英語		

1 年次英語科(3名 /11名)

C 英 I、英表 I 共通事項

- 習熟度別 α 、 β 、 γ ※ α = 発展 B、 γ = 標準
- 毎週（火）単語テスト実施（50語四択 英→日 4分間）

※火曜日の最初の授業で実施（追試あり）

C 英 I (週 4 コ マ)

- 共 通 の ハ ン ド ア ウ ト 使 用 (C英I)
- 各 パ ー ト
 - 予 習 プ リ ン ト 両 面 1 枚 (Listening, 語 彙, 日 本 語 訳)
 - 授 業 プ リ ン ト 両 面 1 枚 (Q & A, 文 法 事 項, 語 彙, 音 読, 英 作 文)
- 単 語 学 習 (帯 活 動 5 分 程 度)



予習プリントについて

1. Listeningは授業時にも実施
2. 予習の取り組み状況確認
3. 口頭要約（日本語）ペア
 - じゃんけん敗者：1分→（交代）勝者：45秒
4. 授業プリントの対訳で各自確認

Task 1

Q&A

1. ペアでじゃんけん敗者がQを読み、勝者が聞いてから各自取り組む。
2. 全体確認の前に、ペアで解答と根拠を比較し、確認。

Task 2

文法事項

1. 本文解析プリントを配布
2. 必要だと思ふ箇所のみ、授業プリントに書き込む
3. 不明な箇所は質問させる
4. ペアで授業プリントを交換、比較し参考にする。

Task 3

語稟

1. じゃんけん敗者が、語句**の**定義(definition)を**読み**、勝者が聞いて**から**各自取り組む
2. 全体**確認の**前に、ペアで語句を確認。

Task 4

音読 ※合計10分以上はやら6い。

1. じゃんけん勝者がチャンクの部分（英語）を読み、

パターン1:ハンドアウトを見ないで繰り返す

パターン2:ハンドアウトを見ないで日本語に直す

※日本語→英語は今のところ行っていない。

Task 5

英作文

1. 時間制限あり(5分程度)
2. 制限時間後ペアで読み合い、Best sentenceをお互いが選ぶ
3. じゃんけん勝者が発表(※Repeatする。Recastを心がける)

※ 発表者数はじゃんけん調整

英作文の添削について①

- Part毎のWriting Taskについては、提出させ※Collection codesを用いて間違いを指摘してきたが、膨大な時間がかかったため添削対象はペアに選んでもらったBest sentenceのみに変更。
1文 × 担当生徒数(84名)なので1コマ(45分)の時間で添削可能。
- 次回のWriting Taskの前に、各クラス1文ピックアップし紹介する。



Correction codes



	CODE	TYPE OF ERROR	EXAMPLE	Note
1	pl	Singular/Plural 単数形か複数形か	<i>pl</i> I have many <u>book</u> on music.	books
2	T	Tense 時制の間違い	<i>T</i> Last week I <u>have been</u> to London.	went
3	vf	Verb form 動詞の形	<i>vf</i> I'm <u>liking</u> sushi.	like
4	WO	Word order 語順	<i>WO</i> Reading is <u>interesting more</u> than speaking.	more interesting
5	^	Something is missing 何かが欠けている	He saw the film and very disappointed. ^	was
6	/	Not necessary 不要	I don't know anything about of it.	
7	WW	Wrong word 間違った語	<i>WW</i> He's a very <u>high</u> man.	tall
8	p	Punctuation 大文字・小文字、ピリオドなど	<i>p</i> I live in Tokyo however I work in Yokohama.	Tokyo. However, I ~
9	prep	Preposition 前置詞の間違い	<i>prep</i> I live <u>at</u> Tokyo.	in
10	sp	Spelling スペル間違い	<i>sp</i> It is <u>nescesary</u> to be able to spell.	necessary

英作文の添削について②

- Lesson毎のWriting Task(エッセイ)については、**文法的な**間違いを指摘せず、**内容の面白さ**をみて各クラス(3クラス)の Best essayを選び紹介する。

英表I（週2コマ）

- 共通のハンドアウト
 - 教科書練習問題の解答（ペアでノートを交換し○付け）
- ワークの確認
- （単語学習）

英表I で 生徒 に 期 待 し て い る こ と ①

1. 文法事項の体系化

- ① CAN-DOリストによる 到達状況の確認
- ② 各文法事項を自分の言葉で説明できるか

英表I で 生徒 に 期 待 し て い る こ と ②

2 アウトプット活動(SpeakingとWriting)への 応用

① 量的なFluency(流暢さ)の 向上

② 英語による即興力の育成

C英I と英表I 共通した働きかけ

- わかる・わからない、できる・できないの区別ができるように
→ 自律した学習者を目指して
- 初見の語があっても「まずは自分なりに音読してみよう」
→ 間違いから学ぶことの重要性
- 相手が理解できる英語を使う
→ 言葉の力の大切さ



Any Question or Advice?

新学習指導要領における授業改善

学習指導要領改訂の方向性

新しい時代に必要な資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「**社会に開かれた教育課程**」の実現

各学校における「**カリキュラム・マネジメント**」の実現

何を学ぶか

どのように学ぶか

新しい時代に必要な資質・能力を踏まえた
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共（仮称）」の新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

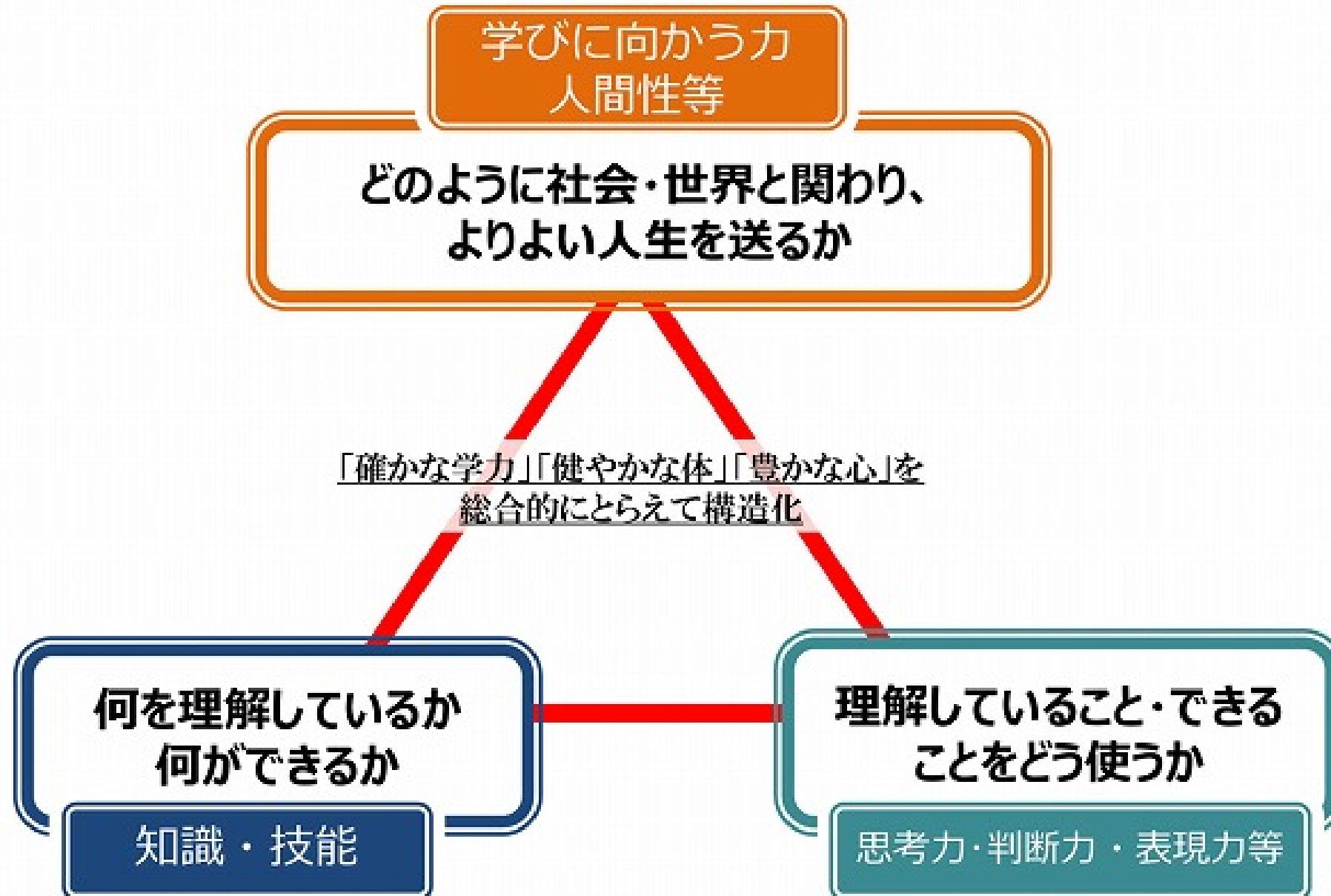
学習内容の削減は行わない※

主体的・対話的で深い学び（「**アクティブ・ラーニング**」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成
知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための学習過程の質的改善

主体的な学び
対話的な学び
深い学び

※高校教育については、益々な事実的知識の暗記が大学入学選抜で求められることが課題になっており、そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革等を進める。



どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成
知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための
学習過程の質的改善



- 前提条件

→生徒が学ぶべき知識量_量は減らさない

- 教師に求められること

→生徒が質の高い理解を得ることができる

- そのために何をすべき？

→ 学習過程の質を改善する

- どうやって？

→ 主体的・対話的で深い学びの視点で

生徒たちが、
主体的、対話的で深い**学び**
を実現できたら・・・

主体的な学びにより実現したい子供の姿



興味や関心を高め
る



粘り強く取り組む



見通しを持つ



振り返って次へつ
なげる



自分と結び付ける

対話的な学びにより実現したい子供の姿

 互いの考えを比較 する	 多様な手段で説明 する	 共に考えを創り上 げる
 多様な情報を収集 する	 先哲の考え方を手 掛かりとする	 協働して課題解決 する
 思考を表現に置き 換える		

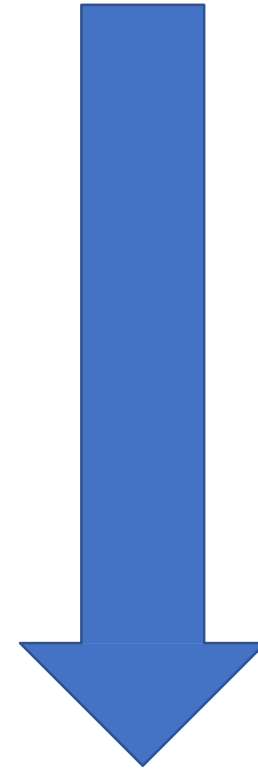
深い学びにより実現したい子供の姿

 思考して問い続ける	 自分の考えを形成する	 自分の思いや考えと結び付ける
 知識・技能を習得する	 新たなものを創り上げる	 知識や技能を概念化する
 知識・技能を活用する		

学びの質向上への段階

Key steps to learn better

1. Value.
2. Target.
3. Develop.
4. Extend.
5. Relate.
6. Rethink.



1. Find value.
(価値を見出す)

2. Create target.

(目標を設定する)

3. Develop knowledge and skills.

(知識とスキルを伸ばす)

4. Extend expertise.

（専門知識を発展させる）

5. Relate skills.

(関係づけるスキル)

6. Rethink understanding.

(自 分 の 理 解 を 再 考 す る)

学習者への支援

Teachers should...

- Set expectations.
(期待値を示す)

Teachers should ...

- Break it up.
(分散する)

Teachers should····

- Promote focus.
(集中力を高める)

Teachers should ...

- Support mistakes.
(ミスをサポートする)

Teachers should ...

- Use analogies.
(アナロジーを使う)

Teachers should ...

- Promote review.
(見直しを促す)

Organizing Change

Visions (ビジョン)	Skills (スキル)	Incentives (動機づけ)	Resources (リソース)	Action Plan (行動計画)	=	Change (変革)
	Skills (スキル)	Incentives (動機づけ)	Resources (リソース)	Action Plan (行動計画)	=	Confusion (混乱)
Visions (ビジョン)		Incentives (動機づけ)	Resources (リソース)	Action Plan (行動計画)	=	Anxiety (不安)
Visions (ビジョン)	Skills (スキル)		Resources (リソース)	Action Plan (行動計画)	=	Resistance (抵抗)
Visions (ビジョン)	Skills (スキル)	Incentives (動機づけ)		Action Plan (行動計画)	=	Frustration (欲求不満)
Visions (ビジョン)	Skills (スキル)	Incentives (動機づけ)	Resources (リソース)		=	Diffusion (散乱)

Let's work together for our students!



2019.7.19 R1第13回高英研ワークショップに向けて

References

- 新学習指導要領について 文部科学省
- 独立行政法人教職員支援機構HP ピクトグラム一覧
- Learn Better アーリック・ボーザー著
- CREATIVE SCHOOLS ケン・ロビンソン, ルーアロニカ 著